

# 入学式式辞（平成 29（2017）年 4 月 10 日（月））

## 式辞

狗留孫の遙かなる霊峰、油谷湾に寄せる新潮、響灘の高き波音、角島を照らす光芒、これら本校を見守る豊かな自然が躍動し、芽吹きの新緑に彩られた、萌えいずる新しい季節が巡ってまいりました。

本日ここに、林PTA会長様の御臨席、並びに、保護者の皆様方の御列席を賜り、山口県立豊北高等学校平成29年度入学式が挙行できますことは、私ども関係者一同、この上もない喜びとするところであり、感謝に堪えません。

先ほど、入学を許可いたしました51名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。晴れて本校の生徒となった皆さんを在校生、教職員一同、心から歓迎いたします。

今、皆さんの胸の内は、本日の入学に際し、高校生活への新たな期待や決意で、大きく高鳴っていることと思います。

言うまでもなく高等学校は、義務教育ではなく、皆さん一人ひとりが、それぞれの希望と決断とによって、自ら選択した人生の一步であります。それぞれの決断と責任において、豊北高校の生徒として生きることを選び取った皆さんには、そのことを改めて思い起こし、それぞれの決意を新たしていただきたいと思ひます。

また、皆さんが、高校生としての第一歩を踏み出すことができたのは、皆さん一人ひとりの努力の成果であります。ひたすら皆さんの成長と幸せを願って愛情を注いでこられた御家族の方々、そして、皆さんを支えてくださった多くの方々のおかげでもあります。

このことをしっかりと心に刻み、感謝の気持ちをもって高校生活を踏み出してください。

皆さんを迎える本校は、創立70年を超える伝統ある学校であり、9500名を超える卒業生が各界で活躍しておられます。この北浦地域を代表する高等学校として地域から見守られ愛されている学校であり、落ち着いた学校の雰囲気や様々な活力ある取組、そして進路の実績は高く評価されています。

加えて、平成30年度には、県立響高等学校とともに、地域の期待を一身に背負う新しい高校としてもスタートすることとなります。

もちろん、豊北高校のよき伝統や校風は、新しい高校に引き継がれることとなります。いえ、引き継がなければなりません。それができるのは、平成29年度の入学生であるみなさんです。

みなさんの姿が、活躍が、成長が、後輩たちに引き継がれ、新しい学校の新しい伝統を形づくっていくのです。

皆さんはこうした本校のよさや地域との結びつきを大切にし、北高生として、そして新たな学校づくりのパイオニアとしての誇りをもって、これからの「学び」の道のりをしっかりと歩んでほしいと思います。

私は今、この学び舎で過ごす皆さんの3年間の道のりを想像することができます。

友と机を並べて考え、意見を交わす日々の授業。

真面目でひたむきな姿勢で勉強に取り組む生徒であってほしい、常に知力を蓄え、磨く生徒であってほしいということです。

時には悔しさを味わい、それをバネに練習に励む部活動。

先輩、友人とともにこれに熱中し、さわやかな汗を流す生徒であってほしいということです。授業を終えた後、熱中するものがない高校生活は、その半分しか過ごしたことになりません。

授業に集中し、部活動に熱中することが、皆さんの未来への可能性を大きく広げることになるでしょう。

そして、全校が心をつなげて取り組む数々の学校行事や生徒会活動。

その道のりには、多くの喜びや感動があり、一方で、くじけそうになったり、不安に駆られたり、歩むべき道の選択で思い悩むこともあるでしょう。しかし、努力や苦労、悲しみや喜びを積み重ねながら、粘り強くやり抜き、常により高い自己をめざそうという強い「覚悟」により、皆さんの未来への扉が開かれるのです。

本校の校訓である One for all ; All for one. 一自助、奉仕、創造—の中にある、「創造」の精神が、そうしたことを示しています。

さらに、他人を思いやり、社会に貢献しようという「奉仕」の精神、自ら考え、判断し、主体的に行動できる「自助」の精神、本校の校訓は、みなさんに、この「自助・奉仕・創造」の3つの精神を柱に、「One for all ; All for one.」の気持ちをもち続け、その道を歩み続けることを求めています。

二度と歩めぬかけがえのないこの道。  
広いときもある。狭いときもある。のぼりもあれば、くだりもある。  
坦々としたときもあれば、かきわけ かきわけ汗するときもある。  
いま立っているこの道、いま歩んでいるこの道、  
とにかくこの道を休まず歩むことである。  
道をひらくためには、まず歩まねばならぬ。  
心を定め、懸命に歩まねばならぬ。  
それがたとえ遠い道のように思えても、  
休まず歩む姿からは必ず新たな道がひらけてくる。  
深い喜びも生まれてくる。

松下幸之助さんの残された言葉です。

ただ、皆さんの歩む高校生活という道は、決して、一人ではありません。仲間がいます。先生方がいます。勇気をもって歩み始めましょう。

終わりにになりましたが、保護者の皆様。

このたび、縁あって私どもが皆様方のお子様をお預かりすることになりました。私どもは、お預かりするお子様の教育には、全教職員が全力をもって当たる決意でございます。しかしながら、これからの教育は、学校のみではなく、学校、家庭、地域社会とが連携して進めていくことがますます重要になってきています。

ご家庭におかれましても、その教育方針を貫いていただくとともに、学校と家庭がそれぞれの役割を十分認識し、子供の成長という同じ方向を向いて協力しあって参りたいと考えております。

新入生の皆さんが初心を忘れることなく、高校3年間で全うされ、充実した3年間で過ごされることを期待して、式辞といたします。

平成29年4月10日

山口県立豊北高等学校 校長 竹村和之